

守山市廃棄物減量等推進審議会議事録

1 日 時 令和7年10月30日（木）午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 守山市役所3階 34会議室

3 出席委員 9名中8名

◎吉原 福全 ○中川 郁男 金谷 健 藤井 純子 菅本 勝利

田中ひろ子 岸 とし江 浦山 重雄

※◎会長○副会長

4 審議会議事録

(1)一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間見直し（素案）について（資料1）

委 員：①リサイクル率の目標値について、最終目標値が25.3%になっているが、かなり高い目標数値となっていると考えられるので、おむつ等の新しいリサイクルの導入など、多くの対策を打つべきである。
②行政回収で23.2%、民間回収を含めると25.3%としっかりと記載したほうが良い。
③P12の「4 資源物回収の実績について」の記載について、資源物の盗難の記載を見直したほうが良い。

事務局：①リサイクル率については目標を設定させていただいておりますが、特に焼却ごみの中に資源化できる雑がみが約10%含まれており、年間総量では約1,100tになり、それらをリサイクルすると4～5%は数値が上昇します。また、新しいリサイクルについても、令和7年度から落じんコンペアの改修のより貴金属が含まれる焼却灰の再資源化を実施すると十に焼却炉の点検時の灰の再資源化についても試験的に実施を行っております。環境部局一丸となって、リサイクル率を上げていきたい強い思いがあります。

②わかりやすく記載します。

③修正します。

会長：スーパー等が実施する民間回収の数値は把握されているのか。

事務局：独自に資源物を回収されている施設へ、毎年回収量についてヒアリング等により具体的な数値を把握しています。それら具体的な回収量を算入し、リサイクル率の目標数値を設定しています。

委員：①リサイクル率は行政が回収した資源物量が対象になっているものであり、民間の回収量を含んで計画を策定するという考えはいいと思いますが、例えば「総リサイクル率」など言葉を分けておくべきであると考えます。
②資源物ごとにどの程度減少しているのか整理した方がいい。その上で、様々な要因で回収量の増加が見込めない資源物を増加させることは不可能であり、また今後5年間でリサイクル率を7.3%増加させることは不可能に近いものであり、リサイクル率の目標数値についても実効性が高い数値に見直すべきであると考えます。
③8ページのグラフと記載内容を実態にあった内容へ修正してください。

委員：守山市で実施できていない「紙おむつ」や「生ごみ」等の新たなリサイクルを導入すれば、リサイクル率は必ず上昇するので、新しいリサイクルを導入し、リサイクル率を高めるべきだと考えます。

会長：リサイクル率については、基本計画の中にリサイクル率を入れるべきという指針があるものの、全国的に率が下がっていることや民間回収も盛んになってきていることもあり、リサイクル率を重んじるよりも総ごみ量を減らすことに視点を変え、目標指標から外されている市町もあります。
焼却ごみの中の10%の雑がみを減らすと、発熱量が減少し、結果として、助燃材を使用することになると話が変わります。民間回収が盛んになっている中、無理に雑がみのリサイクル率を上げることは検討されなくとも良いのではないかとも考えられます。実際に人口が減少している自治体では、ごみ量が減少しているので、発電施設を持っている自治体においては、どのようにごみを

集めようか検討を進めている実態も踏まえ、リサイクルについて検討を進めていってはどうかと思います。

事務局：事務局としては、民間回収量を踏まえてリサイクル率の目標数値を維持していくたいと考えておりますが、ご意見いただいたように、「総リサイクル率」として、表現を変えさせていただくことを検討いたします。

目標数値は高過ぎであるというご意見についても、真摯に受け止めますが、高く目標値を設定すべきであるというご意見もいただいております。「紙おむつ」等の新しいリサイクルについても研究しており、スペースやコスト面等の大きな課題があること認識している中、今後それらの課題も技術改良等で改善していくのではないかと期待しております。目標値を高く設定してまいりたいと考えております。今後も、専門的なご意見を賜りますようお願いします。

委員：①P24 の「数値目標」について、説明文に削減量を記載されていますが、削減率を記載した方がわかりやすいと思います。

②P11～12 等の排出原単位やリサイクル率の国や県との比較については、特に県内では守山市何番目なのかと記載してもよいと考えます。

事務局：①記載について検討させていただきます。

②県内での順位についても、何らかの形で記載させていただきます。

委員：P31 の食品排出事業者への食品リサイクル法等に基づく再利用の促進について、民間の堆肥化施設について周辺にどのくらい事業所がありますか。また、どのように取り組みに係る方向性がありますか。

事務局：県内であれば甲賀市の水口テクノス、県外では三重県伊賀市と岐阜県関市の事業所で、市内の食品排出事業所がサイクルされています。

また、今年オープンした大型のディスカウントストアやスーパーのごみ排出量が多いものと見込んでいることから、次年度以降に企業訪問等を通して、事例紹介をしていきたいと考えております。

委 員：P23 の一般廃棄物処理困難物への対応について、どのようなものが対象になるかわからぬので、「例えば〇〇」等イメージが付くように記載してください。

事務局：そのように記載させていただきます。

委 員：同じく P23 の一般廃棄物処理困難物への対応について、消火器や車のタイヤ等処理ができないものがあると考えられ、処理困難物全部が受け入れできるようにはならないので、「可能なものについては」等と記載してください。

事務局：そのように記載させていただきます。

委 員：①P30 の集合住宅におけるごみの適正排出と減量化の推進について、事業系収集許可業者と連携して取り組むと記載されていますが、具体的にはどのようなことか。また、事業者その他市へのごみの持ち出しについて把握されているか。困っている方へのフォローもしっかりとしてほしい。
②P32 の高齢者等のごみ出し支援の実施について、現在守山市が実施している「高齢者等前日排出制度」について、対象者をどのようにしているのか、特に様々意見が出ているものと考えておりますが、どのように集約し、施策を実施していくのか検討されているのであれば教えていただきたい。

事務局：①まず、毎月不定期に事業系収集業者への展開検査を実施しており、資源物等が混入していれば減点し、特にスプレー缶などの危険ごみや破碎ごみが混入していれば大幅に減点対象となり、許可の取り消しにもつながります。そうしたことから、そういう対象物が入っておれば、収集業者は回収されませんので、最近は小さな缶や瓶などが入っているだけです。
今後も、許可業者を通したごみの減量化や適正排出について取り組んでいきたいと考えておりますが、分別が悪い集合住宅やコンビニについては行政としてもしっかりと管理会社や店舗に訪問し、指導してまいります。他市へのごみの持ち出しについては把握しておりません。

②8050 問題の方等、高齢者のみの世帯だけでなく、ご家族の中に引きこもりの方がおられたり、障害をお持ちの方がおられた場合などについても、幅広く受け入れさせていただいているところです。今年度始めた事業でございますので、1年を通して課題をしっかりと把握し、福祉部局と連携し受け入れ対象の拡大であったり、前日のごみ出し支援では対応しきれない課題も出てきたら、次の対応も考えていくべきであると考えております。

会長：今回中間見直しに向けて2回目の審議会となりました。今回委員の皆さんから出た意見を踏まえ、来年2月の3回目審議会で最終案として説明いただきたいと思います。

事務局：「リサイクル率」の記載の方法と目標数値については、事務局側で検討した数値等を示し、各委員から意見をいただきますのでよろしくお願いします。